

<ポイント版> ぎふ経済レポート（平成 29 年 6 月分）

【景況感】

景気は緩やかに回復している。

【製造業】生産、受注は持ち直しの動きが継続している

○製造業は、引き続き輸送用機械（主に自動車産業）は好調を維持しており、金属製品やプラスチック製品などの幅広い産業で底堅い動きが見られ、全体としては上向きの動きが継続している。

【地場産業】厳しい状況が継続しているが、持ち直しの動きもみられる

○地場産業は、海外製品等との競合、国内需要の低迷、原材料費高騰による収益の圧迫など厳しい状況が継続しているが、生産に持ち直しの動きもみられる。

【設備投資】投資実績は底堅く推移するとともに、投資意欲も改善している

○設備投資は、設備投資意欲が改善し、人手不足への対応のために「生産能力拡大・売上増」、「合理化・省力化」といったニーズが高まる中、国内の金属工作機械受注額が、前年同月比で大幅に増加するなど、底堅く推移している。

【個人消費】消費は緩やかに回復しつつある

○個人消費は、新車販売台数や軽自動車の販売台数は引き続き堅調な推移を見せていることに加えて、大型小売店等の売上が3カ月ぶりに前年同月比でプラスとなるなど、総じて持ち直しの動きが継続している。

【観光】観光客数は減少しているものの、宿泊客数は横ばい

○観光では、日並びの関係で前年と比べ、GWの休日の数が1日少なかったことも影響し、公園等を中心に減少傾向となった。一方、宿泊施設は、横ばいとなった。

【資金繰り】借入しやすい状況が継続する中、資金繰りは改善している

○企業の資金繰りは、借入難易感が高止まりし、借入しやすい状況が継続するなか、資金繰りDIも改善しており、全体的には事故報告や倒産件数も減少傾向にある。一方で経営体力に乏しい小規模企業においては厳しい状況が継続している。

【雇用】雇用情勢の改善とともに、人手不足感が拡大している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、良好に推移しており、総じて県内の雇用情勢は着実に改善している。但し、人材が大手企業に流れ、多くの中小企業では採用難に陥っており、人手不足が慢性化している。